

## さいたま市民医療センターにてご入院歴のある方へ

当院では2020年4月より、入院中の不眠症状に対する睡眠薬投与基準を各診療科間で標準化しました。特に高齢者では睡眠薬による転倒・骨折リスクの増大が指摘されています。原則として入院生活環境を整えることで夜間の不眠症状を軽減させるよう努めていますが、やむを得ず睡眠薬を用いる場合でも転倒・骨折リスクの少ない薬剤を標準的に用いることで、病院全体として診療の質向上を目指しています。

### 【研究課題】

不眠時指示の標準化による転倒リスク減少効果のサブグループ解析

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関   さいたま市民医療センター   内科

研究責任者   診療部   医長   吉野雄大

担当業務    データ収集・匿名化・データ解析

### 【共同研究機関】なし

### 【研究期間】

2025年3月31日まで

### 【対象となる方】

2017年4月1日～2023年3月31日の間に小児科を除く当院のすべての診療科に入院した患者さんのうち、入院中に転倒した方

### 【研究の意義】

特定の睡眠薬による転倒・骨折リスクの増大は広く知られていますが、睡眠薬の投与基準を設けたり、特定の睡眠薬の使用頻度を減らすことによる転倒・骨折リスクの減少効果は、現時点では小規模な観察研究による報告はあるものの、大規模に検証された報告はありませんでした。当院で行った睡眠薬投与を標準化する取り組みにより睡眠薬関連転倒と損傷発生のリスク減少効果が明らかとなっています。これに加えて、転倒や損傷発生リスクがどのような患者背景によって増大または減少するのか明らかにすることによって、入院中に起きる転倒リスクを低下させ、より実効性のある転倒予防策や損傷発生対策を実行することが可能になります。

### 【研究の目的】

入院中の転倒データを収集し、転倒および損傷発生リスクを確かめることにより、患者さんにとってより安全な入院環境を提供できる取り組みにつなげていきます。また転倒や損傷発生リスクが高い患者背景を明らかにすることにより、より効果的な転倒予防策を計画するために必要なデータを収集します。

**【研究の方法】**

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている既往歴や処方歴などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

**【個人情報の保護】**

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの既往歴などの臨床情報や処方歴などの薬剤情報は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当院において管理責任者：吉野雄大が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけた USB メモリー、および鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当院においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで 2025年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら研究事務局へお尋ねください。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。  
尚、あなたへの謝金はございません。

2024年 6月28日

**【問い合わせ先】**

さいたま市民医療センター 内科医長：吉野雄大  
住所：埼玉県さいたま市西区島根299-1  
電話：048-626-0011